

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年 2月 17日

事業所名：尼崎児童デイサービスステップ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	部屋をできるだけ広く使用できるように物の配置を考え、なおかつ安全に活動ができるように危ないと思われる個所には安全ガード等を設置し工夫をしている。	はい95% わからない5% 子どもの体が大きくなって初めよりはかなり動けるスペースが狭くなっていると思うが気にしていない。慣れ親しんだ場所なのでリラックスできていると思う。	現状維持
	2 職員の適切な配置	児童利用人数に応じ3名から6名で対応。	はい90% わからない10%	基準もしくは基準以上の職員を配置しています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子どもたちが使う用具等は使った後でもわかりやすく片づけることができるよう配慮している。出入口、玄関、トイレ、室内はバリアフリー化になっている。	はい90% どちらともいえない5% わからない5%	利用児童に応じ、その都度工夫等が必要となった場合は利用がしやすいよう対応していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	部屋をできるだけ広く使用できるように物の配置を考え、なおかつ安全に活動ができるように危ないと思われる個所には安全ガード等を設置し工夫をしている。清掃、除菌を徹底し毎日行っている。室内には空気清浄機、紫外線殺菌装置を設置。紫外線殺菌装置は室内が無人の際に使用。	はい80% わからない20%	衛生面、コロナ感染予防には十分に配慮し活動に合わせた生活空間を確保できるように今後も心掛けていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会議を行い目標の設定や見直しをしている。		今後も継続し質の向上に努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価を取り入れ、参考にしています。		今後も継続し質の向上に努めます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修や事業所内研修を積極的に取り組んでいます。		今後も継続し質の向上に努めます。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期面談を行い保護者との話し合いの元、個別支援計画書を作成しています。		今後も継続し質の向上に努めます。その都度状況に応じ、必要となれば再度保護者や児童との話し合いの元、計画書の変更も行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
な支援の提供	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	定期面談を行い保護者との話し合いの元、個別支援計画書を作成しています。	はい95% わからない5%	今後も継続し質の向上に努めます。その都度状況に応じ、必要となれば再度保護者や児童との話し合いの元、計画書の変更も行います。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	定期面談を行い保護者との話し合いの元、個別支援計画書を作成しています。		今後も継続し質の向上に努めます。その都度状況に応じ、必要となれば再度保護者や児童との話し合いの元、計画書の変更も行います。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員会議等で個人の支援内容を確認し支援を行っている。	はい95% わからない5%	今後も継続し質の向上に努めます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	毎日の活動ではその日の利用児童に応じ内容を立案し全体でSSTを行っています。季節に応じた郊外活動やクッキング教室等のイベント等も計画し行っている。		今後も継続し質の向上に努めます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	曜日や利用時間により内容を立案し子どもたちが楽しく療育に参加できるように行っている。	はい95% どちらともいえない2.5% わからない2.5%	子どもの成長に合わせて、声掛けや接し方を工夫してもらっている。家庭ではできないことをしたり、一人のお兄さんとして対応してもらえることが本人の自信にもなっている。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもたちが楽しく療育に参加できるように、時おり子どもたちの意見も聞き入れながら活動を行っている。		今後も継続し質の向上に努めます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日の出勤者と必ず確認を取り、把握した後支援を行うようにしている。		今後も継続し質の向上に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
)	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に時間を取ることが難しい場合もあるため書面等に残し必ず次の日の朝礼で確認し共有している。	今後継続し質の向上に努めます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日報に打ち込み職員全員が共有できるようになっている。	今後継続し質の向上に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的モニタリングを行い、支援計画書の見直しをしている。変更が必要な場合はその都度対応している。	今後継続し質の向上に努めます。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援支援員、児童発達支援管理責任者、児童指導員、指導員、が参画しサービス担当者会議を行っている。必要に応じ、学校の先生にも参加していただく場合もある。	今後継続し質の向上に努めます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象となる利用者がいない。	今後必要に応じ対応していきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象となる利用者がいない。	今後必要に応じ対応していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	対応していただける事業所や学校等は情報共有している。	今後も積極的に活動し、対応してきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
こ の 連 携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	対象となる利用者がいない。		今後必要に応じ対応していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センターの専門機関とは連携が取れており必要な場合は連絡を取り合っている。 市や支援センターが行っている研修等は積極的に参加している。		今後も継続し質の向上に努めます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は交流はないが、今後必要に応じて対応する考えである。	はい20% どちらともいえない10% いいえ20% わからない60%  児童館との交流はないが他のデイサービスとの交流活動が増えているので満足している。	今後必要に応じ対応していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は実施していない。		今後必要に応じ対応していきます。
保 護 者 へ の	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明している。わからないことなどはその都度質問に応じ対応している。	はい95% わからない5%	今後も継続し質の向上に努めます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	定期面談、個人面談、電話対応、自宅訪問、連絡帳、送迎時等で伝え共有している。	はい95% どちらともいえない5%	今後も継続し質の向上に努めます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談があった場合は面談や訪問、電話等で対応している。	はい50% どちらともいえない10% いいえ20% わからない20%	今後も継続し質の向上に努めます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	定期面談、個人面談、電話対応、自宅訪問、連絡帳、送迎時等で伝え共有している。	はい95% どちらともいえない5% LINEでのやり取りができるようになっていんなことを伝えやすい。利用日が少なくなっても子どものことをいつもわかってきているのはとてもありがたい安心。	今後も継続し質の向上に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
説明責・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合は面談や訪問、電話等で対応している。	はい85% どちらともいえない5% いいえ5% わからない5% LINEでのやり取りができるようになってい るんことを伝えやすい。	今後も継続し質の向上に努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は実施していないが今後必要に応じ取り組んでいく考えである。	はい10% どちらともいえない10% いいえ40% わからない40%	今後必要に応じ対応していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情等がある場合は迅速な対応を心掛けている。	はい80% わからない20%	今後も継続し質の向上に努めます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個人に合わせ配慮している。	はい95% わからない5%	今後も継続し質の向上に努めます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回の会報とイベント毎に号外の会報を発行し事業所内の状況を発信している。	はい95% わからない5%	今後も継続し質の向上に努めます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のある書類等は鍵付きロッカーに保管し取り扱いには十分に注意している。	はい80% どちらともいえない5% わからない 15%	今後も継続し質の向上に努めます。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定し職員会議等で周知している。	はい80% いいえ5% わからない 15%	職員や保護者に十分に周知していくよう心がけます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	事業所内研修や長期休暇の際に行っている。	はい50% どちらともいえない10% わからない40%	今後も継続し質の向上に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部研修や事業所内研修、虐待防止委員会を積極的に取り組んでいる。		今後も継続し質の向上に努めます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在は対象となる利用者はいないが、必要となった場合には十分に保護者と話し合いの上決定していく考えである。		今後も継続し質の向上に努めます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者と十分に話し合いをし適切に対応するように心掛けている。		今後も継続し質の向上に努めます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業者内で共有できるようにしている。		今後も継続し質の向上に努めます。